

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

平成 22 年 10 月 25 日

理事長 間宮 忠敏

訪日外客数・出国日本人数 (2010 年 9 月推計値、7 月暫定値)

Visitor Arrivals and Japanese Overseas Travelers

◇9 月：訪日外客数 / 前年同月比 34.0%増の 71 万 8 千人に……………P3

◇9 月：出国日本人数 / 前年同月比 3.1%減の 154 万 2 千人に……………P4

2010 年 9 月 推計値

頁/Page

◆総括表：2010 年 訪日外客数・出国日本人数 …………… 1-2
 2010 Visitor Arrivals and Japanese Overseas Travelers

◆解 説：2010 年 9 月 訪日外客数・出国日本人数 …………… 3-16

2010 年 7 月 暫定値

◆数 表：2010 年 7 月 国・地域別/目的別 訪日外客数 (暫定値) …………… 17
 Visitor Arrivals by Country/Area & Purpose of Visit for July 2010 (provisional)

2010 年 1 月～7 月 国・地域別/目的別 訪日外客数 (暫定値) …… 18
 Visitor Arrivals by Country/Area & Purpose of Visit for Jan.- July 2010 (provisional)

2010 年 年齢層 / 性別 出国日本人数 (暫定値) …………… 19
 Japanese Overseas Travelers by Age and Gender for 2010 (provisional)

2005 年～2009 年 各国・地域別 日本人訪問者数 (受入国統計) …… 20
 Japanese Overseas Travelers by Destination (Visitor Arrivals from Japan) 2005 – 2009

お問い合わせ先：企画部 調査研究グループ

TEL : 03-3216-1905



平成22年 訪日外客数・出国日本人数

2010 Visitor Arrivals & Japanese Overseas Travelers

日本政府観光局(JNTO) 企画部

Corporate Planning Department, Japan National Tourism Organization
Tel: 03-3216-1905

平成22年10月25日

25/Oct/2010

(単位:人 / Unit: Persons)

月 Month	訪日外客数 Visitor Arrivals			出国日本人数 Japanese Overseas Travelers		
	平成21年 2009	平成22年 2010	伸率 Change %	平成21年 2009	平成22年 2010	伸率 Change %
1 Jan.	580,673 (399,352)	640,346 (437,752)	10.3 (9.6)	1,172,539	1,264,299	7.8
2 Feb.	408,628 (256,117)	664,982 (514,106)	62.7 (100.7)	1,359,580	1,289,825	-5.1
3 Mar.	568,586 (371,017)	709,684 (484,298)	24.8 (30.5)	1,419,042	1,563,113	10.2
4 Apr.	626,313 (458,192)	788,212 (601,872)	25.8 (31.4)	1,201,614	1,212,959	0.9
5 May	485,713 (334,957)	721,348 (536,880)	48.5 (60.3)	1,036,356	1,262,453	21.8
6 June	424,427 (286,981)	677,064 (511,123)	59.5 (78.1)	947,928	1,312,608	38.5
1~6 Jan.-June	3,094,340 (2,106,616)	4,201,636 (3,086,031)	35.8 (46.5)	7,137,059	7,905,257	10.8
7 July	632,722 (483,541)	878,582 (714,623)	38.9 (47.8)	1,276,275	1,405,335	10.1
8 Aug.	679,586 (504,395)	* 803,300	* 18.2	1,516,588	* 1,642,000	* 8.3
9 Sept.	535,544 (335,416)	* 717,800	* 34.0	1,590,607	* 1,542,000	* -3.1
10 Oct.	655,481 (455,813)			1,364,447		
11 Nov.	565,089 (380,067)			1,279,318		
12 Dec.	626,896 (493,985)			1,281,390		
1~9 Jan.-Sept.	4,942,192 (3,429,968)	* 6,601,300	* 33.6	11,520,529	* 12,495,000	* 8.5
1~12 Jan.-Dec.	6,789,658 (4,759,833)			15,445,684		

◆注1: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2: 平成21年1~12月は確定値、平成22年1~7月は暫定値、*部分はJNTOが独自に算出した推計値である。

◆注3: 訪日外客数(確定値・暫定値)は法務省資料を基にJNTOが算出し、出国日本人数(確定値・暫定値)は法務省資料を転記した数値である。

◆注4: 訪日外客(確定値)とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。

◆注5: ()内は、総数のうちの観光客数である。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. The figures for Jan. - July 2010 are provisional, while * stands for the preliminary figures estimated by JNTO.

◆Note 3. Provisional and definitive figures for Visitor Arrivals are compiled by JNTO (source: Ministry of Justice), and provisional and definitive figures for Japanese Overseas Travelers are provided by the Ministry of Justice.

◆Note 4. The figures in () represent the number of tourists among the total.

2010年9月 訪日外客数 (JNTO推計値)

Visitor Arrivals for Sept. 2010 (Preliminary figures by JNTO)

国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2009年 9月	2010年 9月	伸率(%)	2009年 1月～9月	2010年 1月～9月	伸率(%)
総数	Grand Total	535,544	717,800	34.0	4,942,192	6,601,300	33.6
韓国	South Korea	105,470	193,800	83.7	1,147,179	1,846,100	60.9
台湾	Taiwan	77,471	102,800	32.7	762,330	991,700	30.1
中国	China	98,697	137,500	39.3	753,795	1,178,200	56.3
香港	Hong Kong	32,657	33,700	3.2	326,868	408,200	24.9
タイ	Thailand	11,863	12,800	7.9	121,938	148,900	22.1
シンガポール	Singapore	9,336	10,900	16.8	76,837	107,000	39.3
豪州	Australia	18,833	23,500	24.8	150,220	169,100	12.6
米国	U.S.A.	52,322	56,600	8.2	519,868	548,200	5.4
カナダ	Canada	10,869	11,600	6.7	112,535	116,200	3.3
英国	United Kingdom	14,418	15,500	7.5	134,141	137,800	2.7
フランス	France	10,159	11,500	13.2	105,871	113,100	6.8
ドイツ	Germany	9,696	11,500	18.6	80,765	89,200	10.4
マレーシア	Malaysia	7,761	9,000	16.0	56,551	76,800	35.8
インド	India	5,502	5,400	-1.9	44,316	50,600	14.2
ロシア	Russia	3,637	4,000	10.0	34,316	37,400	9.0
その他	Others	66,853	77,700	16.2	514,662	582,800	13.2

◆注1：本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2：上記の2009年の数値は確定値、2010年の数値はJNTOが独自に算出した推計値である。

◆注3：訪日外客(確定値)とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. Above figures for 2010 stands for the preliminary ones estimated by JNTO.

【訪日外客数】

**9月は、前年同月比34.0%増の71万8千人
～ 9月としては初の70万人台を記録 ～**

2010年9月： 717,800人（前年同月比34.0%増、182,300人増）

2010年1～9月： 6,601,300人（前年同期比33.6%増、1,659,100人増）

9月の訪日外客数は、前年同月比34.0%増の71万8千人であった。9月単月で過去最高を記録するとともに、9月としては初めて70万人台に達した。9月の訪日外客数を年別にさかのぼると、これまで過去最高であった2007年9月（689,183人）と比べ、本年9月は約2万9千人増加した。なお、訪日外客数は昨年11月以降、前年同月比11か月連続で増加している。

昨年9月は円高、景気低迷などの影響で、訪日外客数が16.5%減少したが、本年9月にはその反動が生じ増加幅が拡大した。

主要15市場のうち、9月はインドを除く全市場で前年同月を上回った。そのうち、中国は9月としては過去最高を記録した。

【要因】 訪日旅行の広告・宣伝効果、景気の回復・好転、大型インセンティブ旅行の催行などが訪日外客増に寄与

- 9月のプラス要因は、広告・宣伝の効果（韓国、台湾、中国、香港、カナダ、英国、フランスなど）、景気の回復・好転（韓国、台湾、中国、香港、タイ、シンガポール、カナダ、フランス、ドイツなど）、航空便・航空座席数の増加・回復（韓国、香港、豪州、カナダ、ドイツなど）、チャーター便の運航数増（中国）、割安航空券の設定・販売競争過熱（豪州、カナダ）、クルーズ船需要増（中国）、訪日個人観光査証の発給条件の緩和措置（中国）、大手旅行会社による訪日旅行専用サイトの開設（シンガポール）、インセンティブ旅行の催行（台湾、シンガポールなど）、訪日教育旅行の需要回復（豪州）、連休の創出（韓国、中国）、「鬼月」の該当日数減少（台湾、シンガポール）などが挙げられる。

注：「鬼月」とは、地獄の門が開き、悪霊や亡霊が下界を徘徊して人間に災難を及ぼすとされる月。華人社会においては一般的に信じられている。毎年旧暦の7月に該当する。

- 一方、9月のマイナス要因は、円高傾向（香港、米国、英国、フランス、ドイツなど）、景気の低迷（米国など）、尖閣諸島沖での中国漁船衝突事件を発端とする日中関係の悪化（中国）、航空便・航空座席数の減少・不足（台湾、中国、シンガポール、米国、英国、フランスなど）、燃油サーチャージ・航空運賃値上げの影響（米国など）、日本経由需要の減少（カナダ）、旅行地間の競争激化（豪州）などが挙げられる。

【出国日本人数】

9月は、前年同月比3.1%減の154万2千人 ～ 7か月ぶりの減少 ～

2010年9月： 1,542,000人（前年同月比3.1%減、49,000人減）
2010年1～9月： 12,495,000人（前年同期比8.5%増、974,000人増）

9月の出国日本人数は、前年同月比3.1%減の154万2千人であった。本年2月以来、前年同月比で7か月ぶりに減少した。

出国日本人数は9月として過去最高を記録した2000年（1,677,031人）を135,000人ほど下回った。

注： 9月の出国日本人数（年別で多い順、2010年は第11位）

2000年：1,677,031人、2002年：1,643,681人、2004年：1,639,445人、2005年：1,634,365人、
2009年：1,590,607人、1999年：1,572,340人、2006年：1,570,567人、1996年：1,551,960人、
2007年：1,550,601人、1997年：1,545,922人、2010年：1,542,000人

【要因】 出国日本人減は、昨年のシルバーウィーク期間中、海外旅行需要が急増した反動に起因

- 昨年9月のシルバーウィークは曜日の並びが良く、5連休（9月19日～23日）となったため、例年以上に海外旅行の需要が拡大し、同月の出国日本人数は前年同月比16.0%増を記録した。本年9月のシルバーウィークは曜日が分散したため、その反動が生じた。
- 沖縄県尖閣諸島沖の日本領海内で9月7日、違法操業中の中国漁船が海上保安庁の巡視船に衝突した。この事件をきっかけに日中関係が悪化し、日本人の訪中旅行にマイナスの影響を与えた。交流事業が滞ったものの、観光旅行に関しては、9月の段階では、既に訪中旅行の予約・支払いをしていた旅行者が多かったことから、影響は限定的であったとみられる。
- パキスタン北西部の洪水被害（7月下旬～）、ニュージーランドのクライストチャーチ地震の発生（9月4日）、グアテマラ各地での土砂崩れ被害（9月4日～5日）、米国の電子渡航認証システム（ESTA）の有料化（9月8日～）などは局地的な阻害要因となった。
- 一方、ユーロ等に対する円高傾向、上海万博の開催（5月1日～10月31日）などはプラスに作用した。

【市場別 訪日外客数（推計値）】

◆韓国

前年からの回復に加え、景気の回復、大型連休の創出、訪日旅行の宣伝効果、航空座席供給量の増加などが影響し、訪日客が8割強増加

9月： 193,800人（前年同月比83.7%増、88,300人増）

1～9月： 1,846,100人（前年同期比60.9%増、698,900人増）

訪日客は、9月に前年同月比83.7%増、1月～9月の累計で前年同期比60.9%増とそれぞれ大幅な伸びを示した。月別では昨年11月以降、11か月連続の前年同月比増となった。昨年9月の時点では、円高、景気低迷、新型インフルエンザ流行などの影響で、訪日客の落ち込みが33.9%減と大きかったが、訪日旅行が回復基調に入っていることから、本年9月には反動が生じ増加幅が拡大した。

参考： 9月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第2位）

2007年：201,286人、2010年：193,800人

参考： 1月～9月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第3位）

2008年：1,968,073人、2007年：1,950,576人、2010年：1,846,100人

[要因]

- 景気の回復、低い失業率などを背景に、小売販売額が増加するなど消費意欲が活発化している。また、為替レートは円が高止まっているものの安定している。こうした状況は訪日旅行の需要拡大にプラスに作用している。

注： 韓国銀行によると、2010年第2四半期のGDPは、前年同期比7.2%増となった。また、2010年上半年期では、前年同期比7.6%増となった。（2009年第1四半期：4.3%減、第2四半期：2.2%減、第3四半期：1.0%増、第4四半期：6.0%増、2010年第1四半期：8.1%増）

韓国銀行は、2010年年間のGDPを、本年4月時点の5.2%から本年7月時点の5.9%へと上方修正した。

注： 韓国統計庁によると、失業率は6か月連続で3%台が続いている。（2010年1月：5.0%、2月：4.9%、3月：4.1%、4月：3.8%、5月：3.2%、6月：3.5%、7月：3.7%、8月：3.3%、9月：3.4%）

注： 韓国統計庁によると、2010年8月の小売販売額は、前年同月比11.3%増の22兆1,405億ウォン（1兆6,088億円）となった。前年同月比16か月連続の増加を示した。

- 連休となる秋夕（旧盆）休暇が、本年は9月21日（火）から9月23日（木）であった。前後に2日休みを取れば9連休になったことから、例年よりも同休暇中の外国旅行需要が大幅に高まったものとみられる。また、陰暦に基づく秋夕休暇の昨年の該当月は10月2日（金）から10月4日（日）であったため、本年は、その分の訪日旅行需要が9月に移行した。
- ビジット・ジャパン事業の一環として、本年6月から7月にかけて、テレビ、検索サイト、映画館、雑誌などを通じて、訪日旅行を宣伝するための広告を展開した。また、本年6月から9月にかけて、旅行会社の訪日旅行商品を支援するための共同広告も展開した。これにより、訪日旅行需要が喚起されたと考えられる。

注： 旅行会社との共同広告は、格安航空会社利用商品、クルーズ商品、新規開発商品などの需要を拡大するために展開された。

- 本年3月以降、日韓間の航空便（格安航空会社を含む韓国系航空会社の定期便、

及びチャーター便)が急増している。

注： 日韓間の航空便の拡大

茨城⇄ソウル(仁川) 2010年3月11日、週7便で新規就航(アジアナ航空)
青森⇄ソウル(仁川) 2010年3月28日以降、週3便から週4便に増便(大韓航空)
中部⇄ソウル(金浦) 2010年3月28日、週7便で新規就航(済州航空)
中部⇄済州 2010年3月28日以降、週3便から週5便に増便(大韓航空)
関西⇄済州 2010年3月28日以降、週6便から週7便に増便(大韓航空)
福岡⇄釜山 2010年3月29日、週7便で新規就航(エア釜山)
羽田⇄釜山 2010年4月16日から10月25日まで、週1便の深夜チャーター便を運航(大韓航空)
関西⇄釜山 2010年4月26日、週7便で新規就航(エア釜山)
羽田⇄釜山 2010年5月7日から10月22日まで、週1便の深夜チャーター便を運航(アジアナ航空)
対馬⇄釜山 2010年5月7日、週4便で新規就航(コアエクスプレスエア)
福島⇄ソウル(仁川) 2010年6月4日から10月29日まで、週2便のチャーター便を運航(イースター航空)
関西⇄済州 2010年9月1日、週4便で新規就航(大韓航空)
新千歳⇄ソウル(仁川) 2010年9月2日、週7便から週10便に増便(大韓航空)
関西⇄務安 2010年9月21日と9月24日に、チャーター便を2便運航(大韓航空)

注： 日韓間の航路の拡大

門司⇄釜山 2010年5月17日以降、週6便で新規就航(グランドフェリー)

注： 日韓間の航空便の縮小

北九州⇄ソウル(仁川) 2010年1月11日以降、週4便から週3便に減便(済州航空)
関西⇄釜山 2010年1月12日以降、週7便を運休(日本航空)
大分⇄ソウル(仁川) 2010年3月28日以降、週3便から週2便に減便(大韓航空)
長崎⇄ソウル(仁川) 2010年3月28日以降、週3便から週2便に減便(大韓航空)

◆台湾

6千人規模の大型訪日インセンティブ旅行が催行

加えて、前年からの回復、9月の「鬼月」該当日数減などで、訪日客が3割増

9月： 102,800人(前年同月比32.7%増、25,300人増)

1～9月： 991,700人(前年同期比30.1%増、229,400人増)

訪日客は、9月に前年同月比32.7%増、1月～9月の累計で前年同期比30.1%増を記録した。月別では本年7月以来、2か月ぶりの前年同月比増となった。昨年9月の時点では、円高、景気低迷、新型インフルエンザ感染拡大による航空便の減便措置などの影響で、訪日客の落ち込みが24.3%減と大きかったが、訪日旅行が回復基調に入っていることから、本年9月には反動が生じ増加幅が拡大した。なお、9月単月、1月～9月累計とも、台湾は中国(大陸)の大幅増に押されて、市場別で第3位となっている。

参考： 9月の訪日客数(年別で多い順、2010年は第2位)

2007年：118,048人、2010年：102,800人

参考： 1月～9月の訪日客数(年別で多い順、2010年は第4位)

2008年：1,099,413人、2007年：1,053,536人、2006年：1,004,480人、2010年：991,700人

[要因]

- 9月に訪日インセンティブツアーが複数催行された。6千人規模の大型ツアーと、複数の数百人規模のツアーが日本を訪れた。
- 台湾で旅行、引越し、結婚式などが控えられる「鬼月」が、本年は8月10日から9月7日までであった。昨年の「鬼月」は8月20日から9月18日までであったため、昨年と比べて9月の旅行需要が増加した。
- 景気が回復基調にあり、外国旅行需要にもプラスに働いている。

注： 台湾行政院主計処によると、2010年第2四半期の実質GDP（速報値）は前年同期比12.5%増であった。2009年第4四半期（同9.1%増）、2010年第1四半期（同13.7%増）に続くプラス成長となった。

注： 台湾行政院主計処によると、2010年8月の失業率は5.17%で、前年同月比0.96ポイント減、前月（2010年7月）比0.03ポイント減となった。

- ビジット・ジャパン事業の一環として、本年6月から7月にかけて、テレビ、新聞、バス車体、屋外広告などを通じて、訪日旅行を宣伝するための広告を展開した。これにより、訪日旅行需要が下支えされたと考えられる。
- 本年3月以降、日台間の航空便の一部で増便、機材の大型化があったが、本年の航空座席供給量は昨年よりも依然少ない状態にある。訪日旅行の需要回復により座席占有率が上昇しているため、特に団体客用の座席確保が難しくなっている。また、中台直行便の拡大に伴い、昨年日台間でチャーター便として運航されていた航空機材の一部が、本年は中国大陸へ振り向けられており、日本へのチャーター便の機材繰りが昨年よりも難しくなっている。

注： 日台間の航空便の拡大

関西⇄台北（桃園） 2010年3月28日以降、機材を大型化（中華航空）

那覇⇄台北（桃園） 2010年3月28日以降、週11便から週14便に回復（中華航空）

関西⇄台北（桃園）⇄シンガポール 2010年7月5日、週7便で新規就航（ジェットスター航空）

広島⇄台北（桃園） 2010年8月7日以降、週5便から週6便に増便（中華航空）

中部⇄台北（桃園） 2010年8月31日以降、週6便から週7便に増便（中華航空）

注： 2010年は2009年に比べて、日台間の1月～8月（累計）の定期便航空座席数が合計で約10万8千席減少した。

◆中国

好景気、連休の創出、クルーズ船需要増、チャーター便の運航、訪日旅行の宣伝効果、個人観光旅行の需要増などにより、訪日客が過去最高を記録

9月： 137,500人（前年同月比39.3%増、38,800人増）

1～9月： 1,178,200人（前年同期比56.3%増、424,400人増）

訪日客は9月単月、1月～9月累計とも過去最高を記録した。9月単月では初めて10万人台に達した。月別では本年2月以降、8か月連続の前年同月比増となった。9月の訪日客数を年別にさかのぼると、本年9月は、これまで過去最高であった2009年9月（98,697人）よりも3万9千人ほど増加した。なお、9月単月、1月～9月累計とも、中国（大陸）は台湾を上回り、市場別で第2位となっている。

[要因]

- 中国政府が進める景気刺激策の効果もあり、経済は好調に推移しており、消費意欲も比較的旺盛である。

注： 中国国家统计局によると、2010年第2四半期の実質GDPは前年同期比10.3%増、第3四半期の実質GDPは同9.6%増となった。

注： 中国国家统计局によると、2010年8月の社会消費財小売総額は前年同月比18.4%増となった。

- 連休となる中秋節（旧盆）休暇が、本年は9月22日（水）から9月24日（金）であった。陰暦に基づく中秋節休暇の今年の該当月は、国慶節期間中の10月3日（土）からであったため、本年は、その分の訪日旅行需要が9月に移行した。
- 9月の九州地域へのクルーズ船寄港状況を見ると、本年9月のクルーズ船客数は

昨年9月と比べて6千人ほど多かったとみられる。

注： 本年9月は、「コスタ・ロマンチカ号」が6回、「コスタ・クラシカ号」が4回日本に寄港した。いずれの便も上海から九州（福岡、鹿児島、長崎のいずれか）と韓国（済州島）に寄港した。

- 日本への航空チャーター便が、本年9月に複数運航された。
- ビジット・ジャパン事業の一環として、本年6月から7月にかけて、テレビ、新聞、雑誌、検索サイト、地下鉄構内、ビル構内などを通じて、訪日旅行を宣伝するための広告を大々的に展開した。また、本年7月15日から21日まで、上海万博の日本館で「ビジット・ジャパン・フェスティバル」を開催し、ショーやイベントを行った。これにより、訪日旅行需要が喚起されたと考えられる。
- 本年7月1日以降、訪日個人観光査証の発給条件が緩和されたことにより、個人旅行ができる層が拡大した。また、これに関連して各種宣伝活動の効果が、間接的にチャーター便やクルーズ船などの団体観光の集客にも波及したと考えられる。

注： 外務省によると、訪日個人観光査証の取得容易化措置は以下のとおりである。

- ①「十分な経済力を有する者」から「一定の職業上の地位及び経済力を有する者」へ、査証発給条件を緩和
- ②査証申請を受け付ける公館の拡大（北京、上海、広州 → 瀋陽、大連、青島、重慶を含む全7公館）
- ③査証申請取り扱い旅行会社の拡大（48社 → 290社）

- 本年3月以降、日中間の航空便で拡大と縮小があった。航空便の縮小や機材の小型化があった路線では、旅行需要の拡大に伴い、本年9月時点で、一部で航空座席の確保が困難な状況が見られた。航空座席の不足に伴う航空運賃の値上がりに加え、円高の影響により、訪日ツアー価格が上昇傾向にある。また、日本人の上海万博見学の需要拡大に伴い、上海路線で座席が確保しにくい状況が起こっている。

注： 日中間の航空便の拡大

新千歳⇄上海 2010年3月28日以降、週3便から週4便に増便（中国東方航空）
成田⇄上海 2010年3月28日以降、週14便から週21便に増便（全日空）
成田⇄深圳 2010年3月28日以降、航空機材を大型化（中国南方航空）
静岡⇄上海 2010年3月28日以降、週2便から週4便に増便（中国東方航空）
中部⇄成都 2010年3月28日、週7便で新規就航（中国国際航空）
関西⇄深圳 2010年3月28日以降、航空機材を大型化（中国南方航空）
福岡⇄広州 2010年3月28日以降、週2便から週3便に増便（中国南方航空）
新千歳⇄北京 2010年7月4日以降、週2便から週4便に増便（中国国際航空）
旭川⇄上海 2010年7月9日以降、週2便で定期チャーター便（座席数150席）を運航（中国東方航空）
茨城⇄上海 2010年7月28日以降、週3便で定期チャーター便（座席数180席）を運航（春秋航空）
新千歳⇄瀋陽 2010年8月11日、週2便で運航再開（中国南方航空）

注： 日中間の航空便の縮小

成田⇄広州 2010年3月28日以降、航空機材を小型化（全日空）
中部⇄重慶 2010年3月28日以降、週7便を運休（中国国際航空）
関西⇄青島 2010年3月28日以降、週7便から週4便に減便（全日空）
関西⇄アモイ 2010年3月28日以降、週4便を運休（全日空）
関西⇄広州 2010年3月28日以降、航空機材を小型化（中国南方航空）

- 沖縄県尖閣諸島沖の日本領海内で本年9月7日、違法操業中の中国漁船が海上保安庁の巡視船に衝突した。この事件をきっかけに日中関係が悪化し、中国側ではインセンティブ旅行や公務旅行を中心に、訪日旅行を取り消す事例がみられた。但し、観光旅行に関しては、9月の段階では、既に訪日旅行の予約・支払いをしていた旅行者が多かったため、影響は限定的であった。

注： 中国の地方旅遊局は9月下旬、現地の旅行会社に対して訪日旅行の募集自粛を要請した。

注： 9月29日に、日本国内で中国人団体観光客が乗車した観光バスに対して妨害行為が発生したことをきっかけに、中国国家旅遊局は9月30日付けで、訪日旅行について注意喚起を発出した。

注： JNTOは9月29日付けで、JNTOウェブサイト（訪日旅行の公式ウェブサイト）を通じて、中国語による「訪日旅行歓迎メッセージ」を発信するとともに、中国のJNTO各事務所から現地の旅行会社やメディアに同メッセージを配布した。

- 中台直行便による台湾旅行解禁当時（2008年7月）と比べて、台湾旅行のツアー価格が半値近くまで下がっている。加えて、中国（大陸）において台湾旅行の解禁地域が本年7月に拡大した。これにより、台湾旅行の需要が拡大している。

注： 2009年8月31日以降、中台間の航空便がこれまでの定期チャーター便から正式に定期便化し、運航便数も週108便から270便へと倍増した。また、2010年6月以降、航空便が更に段階的に増便されている。

注： 2010年5月には、観光宣伝事務所が中台間で相互に設置された。

注： 2010年7月18日には、中国の全ての省・直轄市・自治区の住民の台湾旅行が可能になった。

◆香港

訪日旅行の宣伝効果、景気の回復、航空便の拡大などにより、訪日客が増加

9月： 33,700人（前年同月比3.2%増、1,000人増）

1～9月： 408,200人（前年同期比24.9%増、81,300人増）

訪日客は、9月に前年同月比3.2%増、1月～9月の累計で前年同期比24.9%増を記録した。月別では本年2月以降、8か月連続の前年同月比増となった。

参考： 9月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第2位）

2008年：39,251人、2010年：33,700人

参考： 1月～9月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第2位）

2008年：426,377人、2010年：408,200人

[要因]

- ビジット・ジャパン事業の一環として、本年6月から7月にかけて、新聞、雑誌、地下鉄・路面電車などを通じて、訪日旅行を宣伝するための広告を展開した。これにより、訪日旅行需要が喚起されたと考えられる。
- 景気が回復基調にあり、外国旅行需要にもプラスに働いている。

注： 香港政府統計処によると、2010年第2四半期の実質GDPは前年同期比6.5%増で、2009年第4四半期（同2.5%増）、2010年第1四半期（同8.0%増）に続きプラス成長を記録した。

注： 香港政府統計処によると、2010年6月～8月の失業率は4.2%（暫定値、季節調整済み）で、前年同期比1.3ポイント減、また、前期（2010年5月～7月）と比べると0.1ポイント減となった。失業率は全般的に低下傾向にある。

- 日香間、日・マカオ間の航空便が本年3月以降拡充された。特に沖縄への旅行需要増が航空便の増加を後押ししている。

注： 日香間、日・マカオ間の航空便の拡大

新千歳⇄香港 2010年3月28日以降、週2便から週4便に増便（香港エクスプレス航空）

成田⇄マカオ 2010年3月28日、週3便で新規就航（マカオ航空）

→香港から訪日旅行をする際、マカオ経由便も利用されている。

那覇⇄香港 2010年5月1日から10月30日まで、週7便で定期チャーター便を運航（香港エクスプレス航空）

- 一方、5月に円高香港ドル安が進行し、9月までの間、円高傾向が続いている。9月の月間平均レートは1香港ドル=10.9円で、4月と比べて1.2円高、前年同月（2009年9月）と比べて1.0円高であった。（為替レート出典：三井住友銀行）

◆タイ

景気の回復などの影響により、訪日客が増加

9月： 12,800人（前年同月比7.9%増、900人増）
1～9月： 148,900人（前年同期比22.1%増、27,000人増）

訪日客は、9月に前年同月比7.9%増、1月～9月の累計で前年同期比22.1%増となった。1月～9月の累計については、本年は過去最高を記録している。月別では本年3月以降、7か月連続の前年同月比増となった。

参考： 9月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第3位）
2007年：13,415人、2008年：13,355人、2010年：12,800人

[要因]

- 輸出と民間投資の拡大により、景気が回復基調にある。消費が伸びており、外国旅行需要も高まっている。

注： タイ財務省によると、2010年8月の輸出額は前年同月比23.9%増の165億米ドルとなった。

注： タイ中央銀行によると、2010年8月の民間消費指数は前年同月比6.7%増、民間投資指数は同22.0%増を記録した。

注： タイ国家経済社会開発委員会（NESDB）事務局によると、2010年第2四半期のGDPは前年同期比9.1%増を記録した。第3四半期は6.5%～7.5%増を見込んでいる。

- 3月から5月にかけてバンコクで反政府デモが繰り広げられたが、この期間中、日本人の訪タイ旅行需要は縮小した。9月になっても同需要の回復が遅れている。その一方で、タイ人にとっては航空座席の確保が容易になり、送客に結びついている。

◆シンガポール

景気の好調、9月の「鬼月」該当日数減、訪日インセンティブ旅行の催行などにより、訪日客が増加

9月： 10,900人（前年同月比16.8%増、1,600人増）
1～9月： 107,000人（前年同期比39.3%増、30,200人増）

訪日客は、9月に前年同月比16.8%増、1月～9月の累計で前年同期比39.3%増を記録した。月別では本年2月以降、8か月連続の前年同月比増となった。

参考： 9月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第2位）
2008年：10,970人、2010年：10,900人

参考： 1月～9月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第2位）
2008年：107,479人、2010年：107,000人

[要因]

- 経済成長率は第3四半期に入って鈍化しているものの、景気は依然として好調である。外国旅行の需要拡大にも好影響を与えている。

注： シンガポール通産省によると、2010年第3四半期のGDP（速報値）は前年同期比10.3%増となった。（参考：第1四半期のGDPは同16.9%増、第2四半期は同19.6%増であった。）

注： シンガポール経済開発庁によると、2010年8月の製造業生産高指数（2007年=100、速報値）は前年同月比8.1%増の110.9となった。

- 華人社会で旅行、引越し、結婚式などが控えられる「鬼月」が、本年は8月10日から9月7日までであった。昨年の「鬼月」は8月20日から9月18日までであったため、昨年と比べて9月の旅行需要が増加した。また、本年9月4日から12日までシンガポールでは学校休暇期間（2学期の中休み）となったが、昨年の学校休暇期間中（9月5日～13日）は「鬼月」と重なり旅行需要が減少したことから、本年はその分が純増した。
- シンガポールの大手保険会社が600人規模の訪日インセンティブ旅行を実施した。昨年は催行実績がなかったことから、訪日客の増加幅を引き上げた。
- シンガポールの大手旅行会社が8月に、訪日個人旅行者を対象とした専用サイトを初めて開設した。訪日個人旅行の需要喚起にプラスに働いている。
- 一方、日本⇄シンガポール間の航空座席供給量が減少傾向にある。これにより、団体客よりも単価の高い個人客に座席が割り当てられる傾向が強まっており、団体客にとっては予約が取りづらい状況にある。

注： 日本⇄シンガポール間の航空座席供給量の減少

成田⇄シンガポール 2009年10月25日以降、航空機材を小型化した。月間で約3千席の減少となる。（日本航空）

関西⇄シンガポール 2010年1月17日以降、週7便を運休。月間で約7千席の減少となる。（日本航空）

◆豪州

前年からの回復に加え、航空便の拡大や割安航空券の流通、訪日教育旅行の回復などにより、訪日客が2割強増加

9月： 23,500人（前年同月比24.8%増、4,700人増）

1～9月： 169,100人（前年同期比12.6%増、18,900人増）

訪日客は、9月に前年同月比24.8%増、1月～9月の累計で前年同期比12.6%増を記録した。月別では本年7月以来、2か月ぶりの前年同月比増となった。昨年9月は、円高、景気低迷、新型インフルエンザ流行などの影響で、訪日客の落ち込みが20.5%減と大きかったが、訪日旅行が回復基調に入っていることから、本年9月には反動が生じ増加幅が拡大した。

参考： 9月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第2位）

2008年：23,689人、2010年：23,500人

参考： 1月～9月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第2位）

2008年：187,383人、2010年：169,100人

[要因]

- 本年4月以降、日豪間の航空便の再開や一部機材の大型化が見られ、また、一部の航空会社で期間限定の割安航空運賃の設定が行われるなどの動きがあったことから、訪日旅行需要が高まった。

注： 日豪間の航空便の拡大

関西⇄ケアンズ 2008年12月に運休したが、2010年4月1日以降、週4便で再開（ジェットスター航空）

成田⇄シドニー 2010年7月5日以降、航空機材を大型化（カンタス航空）

注： 9月に適用された割安航空運賃の例

日本航空は2010年5月下旬から6月末日までの期間限定で、成田⇄シドニー便の運賃を往復990豪ドル（諸税除く）の割引価格で販売した。搭乗期間は5月下旬から9月末（特定期間を除く）までである。

ジェットスター航空は2010年6月から7月にかけて、成田⇄ゴールドコースト便、関西⇄ゴールドコースト便など日豪間の計5路線において、片道249豪ドル（諸税除く）からの割引航空券を販売した。搭乗期間は2010年7月13日から9月15日（特定期間を除く）までである。

- 豪州では9月は学校休暇に当たるため、昨年、インフルエンザ流行などの影響で低迷した訪日教育旅行の需要が本年は回復したとみられる。
- 一方、東南アジア系を始めとする格安航空会社が、豪州路線の拡大や豪州での販促強化を進めており、日豪以外の航空路線でも割引競争が起こっている。特に、近距離の旅行地間での誘致競争が激化している。

◆米国

航空運賃の低下、航空座席不足の緩和などにより、訪日客が増加

9月： 56,600人（前年同月比8.2%増、4,300人増）

1～9月： 548,200人（前年同期比5.4%増、28,300人増）

訪日客は、9月に前年同月比8.2%増、1月～9月の累計で前年同期比5.4%増を記録した。月別では本年6月以来、3か月ぶりの前年同月比増となった。9月の訪日客数を年別にさかのぼると、過去最高を記録した2007年9月（65,293人）と比べ、本年9月は8,700人ほど減少した。

参考： 9月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第5位）

2007年：65,293人、2006年：59,990人、2005年：58,916人、2008年：57,851人、2010年：56,600人

参考： 1月～9月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第7位）

2005年：623,679人、2006年：611,035人、2007年：607,832人、2008年：589,305人、2004年：571,156人、2002年：554,322人、2010年：548,200人

[要因]

- 9月は夏休み期間が終わったことから、8月に比べて座席不足はやや緩和したとみられ、航空運賃が若干低下傾向にある。9月は8月に比べると訪日旅行がしやすい状況にあった。
- 但し、日米間の航空便が本年6月に拡大したものの、本年7月以降、円高の急進により、日本人の訪米旅行需要が回復基調にあり、座席占有率が依然、昨年よりも高い状態にあることから、米国人にとっては一部路線で航空座席の確保が困難となっている。これに、燃油サーチャージが復活していることも加わり、航空運賃は依然、昨年よりも高い状態にある。

注： 日米路線の燃油サーチャージは、昨年7月から9月まで、日系航空会社、米系航空会社を問わず付加されていなかったが、その後燃油サーチャージが復活し、本年は9月時点で、運航都市を問わず、222米ドル～296米ドル付加されている。

注： 2009年9月と2010年9月の格安往復航空運賃の最低価格帯（米国での発券価格、燃油サーチャージを含む）

ニューヨーク⇄成田 2009年 900米ドル台 → 2010年 1,100米ドル台

ロサンゼルス⇄成田 2009年 700米ドル台 → 2010年 1,000米ドル台

注： 日米間の航空便の拡大、航空座席数の増加

成田⇄ソルトレイクシティ 2009年10月4日以降、週4便を運休していたが、2010年5月14日以降、週5便で運航を再開（デルタ航空）

関西⇄サンフランシスコ 2009年10月25日から2010年3月27日まで、週7便から週5便に減便していたが、2010年3月28日以降、週7便に回復（ユナイテッド航空）

成田⇄ニューヨーク 2010年6月1日以降、航空機材を大型化（デルタ航空）

関西⇄シアトル 2010年6月7日、週7便で新規就航（デルタ航空）

注： 日米間の航空便の縮小、航空座席数の減少
成田⇄ニューヨーク 2010年4月19日以降、航空機材を小型化（全日空）

- 7月に円高米ドル安が進行し、9月までの間、円高傾向が続いている。9月の月間平均レートは1米ドル＝84.4円で、6月と比べて6.5円高、前年同月（2009年9月）と比べて7.2円高であった。消費者が旅行地として日本を選択する上で不利な状況となっている。（為替レート出典：三井住友銀行）
- 高失業率などの指標が示すとおり、景気が完全に回復しておらず、個人消費支出も伸び悩んでいる。

注： 米国労働省によると、失業率は依然高い水準に留まっている。（2010年1月：9.7%、2月：9.7%、3月：9.7%、4月：9.9%、5月：9.7%、6月：9.5%、7月：9.5%、8月：9.6%、9月：9.6%）

注： 米国商務省によると、個人消費支出には大きな伸びが見られていない。（前月比で、2010年1月：0.2%増、2月：0.5%増、3月：0.5%増、4月：0.1%減、5月：0.1%増、6月：0.0%、7月：0.4%増、8月：0.4%増）

◆カナダ

堅調な経済、航空便の拡大、訪日旅行商品の販売宣伝、割安航空券の販売競争などの効果により、訪日客が増加

9月： 11,600人（前年同月比6.7%増、700人増）
1～9月： 116,200人（前年同期比3.3%増、3,700人増）

訪日客は、9月に前年同月比6.7%増、1月～9月の累計で前年同期比3.3%増を記録した。月別では本年7月以来、2か月ぶりの前年同月比増となった。

参考： 9月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第2位）
2007年：12,141人、2010年：11,600人

参考： 1月～9月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第3位）
2008年：126,808人、2007年：119,656人、2010年：116,200人

[要因]

- 経済成長率は第2四半期に入って鈍化しているものの、景気は依然として堅調に推移している。実質所得は長期にわたって増加しており、訪日旅行需要の拡大にも好影響を与えている。

注： カナダ統計局によると、2010年7月の平均週給は前年同月比3.9%増で、22か月連続の実質増収となった。

注： カナダ統計局によると、2010年第2四半期の実質GDPは、前年同期比2.0%増（年率換算）にとどまった。同5.8%増（年率換算）を記録した第1四半期よりも落ち込んだ。

- 本年3月に日加間で新規航空便が就航したことも、引き続き訪日旅行需要を掘り起こす材料となっている。

注： 日加間の航空便の拡大
成田⇄カルガリー 2010年3月28日から10月28日まで、週3便で新規の定期便を運航（エア・カナダ）

- ビジット・ジャパン事業の一環として、本年8月に、カナダ国内で160を超える直営店舗を展開している大手流通網と連携し、訪日旅行商品の販促キャンペーンを実施した。これにより、訪日旅行需要が喚起された。

注： 大手流通網を活用した販促キャンペーン
JNTOがツアー造成支援をした値頃感のある訪日旅行商品を大量に販売するため、大手流通網と提携して、カナダ国内の160以上の直営店舗とウェブサイトを通じて宣伝した。

- 旅行繁忙期のため、カナダでは本年7月から8月にかけて割安航空券の流通量が減少したが、9月には再び割安航空券の販売競争が起こり、訪日旅行需要が喚起された。

注： 日加間の割安航空券の販売競争

日本航空とエア・カナダは、成田⇄バンクーバー路線の割安航空券の販売競争を展開している。両社とも、出発日を2010年9月1日から12月15日までと限定しており、また、料金は796カナダドル（税抜き）で設定している。なお、2009年9月の割安航空券の料金は、両社とも900カナダドル台（税抜き）であった。

- 一方、円高の進行を背景に、カナダへの日本人旅行者が増加している。紅葉シーズンの10月までは例年、日本人の訪加旅行需要が高まるため、9月もカナダ発日本行きの航空座席の確保が一部で困難になったと思われる。
- 日系航空会社が昨年の冬期スケジュール（2009年10月25日）以降、成田を経由してアジア主要都市へ向かう接続便を減らしたことなどから、アジア系（インド系、中国系など）のカナダ人の日本経由需要が全般的に減少している。

◆英国

円高、航空便減便による逆境の中、日本関連イベントの開催などにより、訪日客が増加

9月： 15,500人（前年同月比7.5%増、1,100人増）

1～9月： 137,800人（前年同期比2.7%増、3,700人増）

訪日客は、9月に前年同月比7.5%増、1月～9月の累計で前年同期比2.7%増を記録した。月別では本年7月以来、2か月ぶりの前年同月比増となった。9月の訪日客数を年別にさかのぼると、過去最高を記録した2007年9月（18,751人）と比べ、本年9月は3,300人ほど減少した。

参考： 9月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第7位）

2007年：18,751人、2006年：17,223人、2005年：16,602人、2008年：16,499人、2004年：16,362人、1999年：15,677人、2010年：15,500人

参考： 1月～9月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第11位）

2002年：167,955人、2005年：164,997人、2007年：164,116人、2004年：163,705人、2006年：158,546人、2008年：155,029人、2001年：150,562人、2003年：150,102人、2000年：143,349人、1998年：138,239人、2010年：137,800人

[要因]

- 9月にロンドン中心部で、一般大衆を対象としたイベント「ジャパン祭り」が開催された。JNTOによる会場での観光宣伝に加え、本イベントの公式ウェブサイトなどを通じたイベント自体の事前告知などにより、日本への関心が高まった。

注： 「ジャパン祭り」は、日本協会と英国日本人会によって主催された。本イベントは昨年来開催されており、本年は来訪者数が昨年よりも1万5千人多い5万人であった。また、会場の規模も昨年に比べて拡大した。

- 一方、5月に円高英ポンド安が急進し、9月までの間、円の高止まりが継続した。9月の月間平均レートは1英ポンド=131.2円で、4月と比べて12.1円高、前年同月（2009年9月）と比べて18.2円高であった。消費者が旅行地として日本を選択する上で不利な状況となっている。（為替レート出典：三井住友銀行）
- 日英間の航空座席供給量が昨年12月に縮小した。日によっては座席の確保が困難な状況になっている。

注： 日英間の航空座席供給量の縮小

成田⇄ロンドン 2009年12月7日以降、週14便から週7便に減便（日本航空）

◆フランス

訪日旅行の宣伝効果、経済の上向き傾向などを背景に、訪日客が1割強増加

9月： 11,500人（前年同月比13.2%増、1,300人増）

1～9月： 113,100人（前年同期比6.8%増、7,200人増）

訪日客は、9月に前年同月比13.2%増、1月～9月の累計で前年同期比6.8%増となった。1月～9月の累計については、本年は過去最高を記録している。月別では本年5月以降、5か月連続の前年同月比増となった。

参考： 9月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第2位）

2008年：11,506人、2010年：11,500人

[要因]

- ビジット・ジャパン事業の一環として、訪日旅行に関するテレビ番組の放映（5～7月）、新聞、雑誌（6～9月）を通じた訪日旅行記事の掲載などを行った。これにより、訪日旅行意欲が高まった。
- 経済が緩やかながら回復傾向にある。訪日商用旅行の需要も上向き傾向にあるものと見られる。

注： フランス国立統計経済研究所によると、フランスの経済成長率は、2009年第4四半期が前期比0.6%増、2010年第1四半期が同0.2%増、2010年第2四半期が0.7%増と、緩やかな回復を示している。

- 一方、ギリシャが財政危機に陥った影響で、5月に円高ユーロ安が急進し、9月までの間、円の高止まりが継続した。9月の月間平均レートは1ユーロ=109.9円で、4月と比べて15.7円高、前年同月（2009年9月）と比べて23.0円高を記録した。消費者が旅行地として日本を選択する上で不利な状況となっている。（為替レート出典：三井住友銀行）
- 昨年10月に日仏航空路線で、日系航空会社による減便措置が取られた。

注： 日仏間の航空便の縮小

中部⇄パリ 2009年10月25日以降、週7便を運休（日本航空）

◆ドイツ

日独間の航空座席供給量の増加、景気的好調などにより、訪日客が増加

9月： 11,500人（前年同月比18.6%増、1,800人増）

1～9月： 89,200人（前年同期比10.4%増、8,400人増）

訪日客は、9月に前年同月比18.6%増、1月～9月の累計で前年同期比10.4%増を記録した。月別では本年5月以降、5か月連続の前年同月比増となった。

参考： 9月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第2位）

2008年：11,627人、2010年：11,500人

参考： 1月～9月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第2位）

2008年：93,075人、2010年：89,200人

[要因]

- 本年 6 月、ドイツ系航空会社が日独航空路線で大型機材を導入した。また、本年 7 月、日系航空会社が日独航空路線で新規就航した。航空座席供給量の大幅増により、座席が確保しやすくなっている。また、航空券価格が割安になっていることから、低価格ツアーが出現している。

注： 日独間の航空便の拡大

成田⇄フランクフルト 2010年6月11日以降、週7便のうち週3便の航空機材を大型化（エアバス A380 を導入）

2010年8月2日以降、週7便全便を大型機材で運航（ルフトハンザ航空）

成田⇄ミュンヘン 2010年7月1日、週7便で新規就航（全日空）

- ユーロ安によりドイツからの輸出が大幅に伸びており、景気が好調になっている。これに伴い、訪日商用旅行の需要が拡大している。

注： ドイツ連邦統計局によると、2010年7月の輸出額は前年同月比18.7%増となった。5か月連続の二桁増を記録した。

注： ドイツ連邦統計局によると、2010年第2四半期の実質 GDP は、前期比2.2%増を記録した。この伸率は、東西ドイツ統合以来で最大となった。

- 一方、ギリシャが財政危機に陥った影響で、5月に円高ユーロ安が急進し、9月までの間、円の高止まりが継続した。9月の月間平均レートは1ユーロ=109.9円で、4月と比べて15.7円高、前年同月（2009年9月）と比べて23.0円高を記録した。消費者が旅行地として日本を選択する上で不利な状況となっている。（為替レート出典：三井住友銀行）

2010年7月 国・地域別 / 目的別 訪日外客数 (暫定値)

Visitor Arrivals by Country/Area & Purpose of Visit for July 2010 (provisional figures)

作成: 日本政府観光局(JNTO) / Compilation: Japan National Tourism Organization

国・地域	Country/Area	総数 Total			観光客 Tourism			商用客 Business			その他客 Others		
		2009年 7月 July	2010年 7月 July	伸率 % Change	2009年 7月 July	2010年 7月 July	伸率 % Change	2009年 7月 July	2010年 7月 July	伸率 % Change	2009年 7月 July	2010年 7月 July	伸率 % Change
総数	Grand Total	632,722	878,582	38.9	483,541	714,623	47.8	96,925	110,539	14.0	52,256	53,420	2.2
アジア	Asia Total	449,944	687,666	52.8	349,962	575,390	64.4	61,738	72,668	17.7	38,244	39,608	3.6
韓国	South Korea	170,240	236,092	38.7	135,543	199,611	47.3	26,134	27,868	6.6	8,563	8,613	0.6
台湾	Taiwan	115,734	152,925	32.1	107,038	143,466	34.0	7,063	7,641	8.2	1,633	1,818	11.3
中国	China	67,944	164,944	142.8	33,813	124,477	268.1	14,413	20,268	40.6	19,718	20,199	2.4
香港	Hong Kong	48,951	68,846	40.6	46,269	65,775	42.2	2,446	2,766	13.1	236	305	29.2
タイ	Thailand	9,631	14,208	47.5	6,619	10,464	58.1	1,952	2,505	28.3	1,060	1,239	16.9
シンガポール	Singapore	6,839	11,556	69.0	4,811	9,198	91.2	1,836	2,154	17.3	192	204	6.3
マレーシア	Malaysia	4,907	7,960	62.2	2,882	5,620	95.0	1,576	1,947	23.5	449	393	-12.5
フィリピン	Philippines	5,193	5,238	0.9	2,892	2,868	-0.8	1,007	1,067	6.0	1,294	1,303	0.7
インドネシア	Indonesia	4,719	6,179	30.9	3,285	4,250	29.4	754	1,031	36.7	680	898	32.1
インド	India	4,889	5,395	10.3	1,729	1,713	-0.9	1,894	2,414	27.5	1,266	1,268	0.2
ベトナム	Vietnam	2,511	3,283	30.7	768	1,366	77.9	716	868	21.2	1,027	1,049	2.1
イスラエル	Israel	982	859	-12.5	596	483	-19.0	357	334	-6.4	29	42	44.8
その他アジア	Asia Unclassified	7,404	10,181	37.5	3,717	6,099	64.1	1,590	1,805	13.5	2,097	2,277	8.6
ヨーロッパ	Europe Total	73,272	81,002	10.5	52,005	58,288	12.1	15,674	17,044	8.7	5,593	5,670	1.4
英国	United Kingdom	16,174	16,233	0.4	10,963	11,054	0.8	3,881	3,879	-0.1	1,330	1,300	-2.3
フランス	France	13,779	16,202	17.6	10,518	12,285	16.8	2,335	2,902	24.3	926	1,015	9.6
ドイツ	Germany	8,653	9,844	13.8	4,803	5,436	13.2	3,282	3,840	17.0	568	568	0.0
イタリア	Italy	5,346	5,748	7.5	3,968	4,125	4.0	1,120	1,161	3.7	258	462	79.1
ロシア	Russia	4,327	4,934	14.0	2,731	3,393	24.2	849	918	8.1	747	623	-16.6
スペイン	Spain	5,104	5,543	8.6	4,515	4,979	10.3	373	404	8.3	216	160	-25.9
オランダ	Netherlands	3,229	3,644	12.9	2,359	2,807	19.0	755	721	-4.5	115	116	0.9
スウェーデン	Sweden	1,845	2,104	14.0	1,325	1,518	14.6	390	457	17.2	130	129	-0.8
スイス	Switzerland	2,320	2,860	23.3	1,803	2,314	28.3	435	453	4.1	82	93	13.4
フィンランド	Finland	1,686	1,510	-10.4	1,484	1,314	-11.5	143	147	2.8	59	49	-16.9
ベルギー	Belgium	1,324	1,646	24.3	937	1,160	23.8	319	400	25.4	68	86	26.5
オーストリア	Austria	1,261	1,312	4.0	904	967	7.0	304	279	-8.2	53	66	24.5
デンマーク	Denmark	1,246	1,539	23.5	909	1,252	37.7	303	251	-17.2	34	36	5.9
アイルランド	Ireland	981	894	-8.9	618	523	-15.4	239	234	-2.1	124	137	10.5
ノルウェー	Norway	803	1,019	26.9	636	847	33.2	135	126	-6.7	32	46	43.8
ポルトガル	Portugal	683	1,114	63.1	581	988	70.1	70	103	47.1	32	23	-28.1
その他ヨーロッパ	Europe Unclassified	4,511	4,856	7.6	2,951	3,326	12.7	741	769	3.8	819	761	-7.1
アフリカ	Africa Total	1,834	1,871	2.0	797	768	-3.6	455	498	9.5	582	605	4.0
北アメリカ	North America Total	86,662	85,183	-1.7	64,744	62,606	-3.3	15,928	16,806	5.5	5,990	5,771	-3.7
米国	U.S.A.	70,373	68,051	-3.3	51,047	48,183	-5.6	14,310	15,072	5.3	5,016	4,796	-4.4
カナダ	Canada	14,100	14,468	2.6	11,947	12,365	3.5	1,383	1,405	1.6	770	698	-9.4
メキシコ	Mexico	1,726	2,140	24.0	1,525	1,788	17.2	129	211	63.6	72	141	95.8
その他北アメリカ	North America Unclassified	463	524	13.2	225	270	20.0	106	118	11.3	132	136	3.0
南アメリカ	South America Total	2,804	3,662	30.6	1,917	2,662	38.9	445	546	22.7	442	454	2.7
ブラジル	Brazil	1,573	2,262	43.8	1,106	1,676	51.5	237	348	46.8	230	238	3.5
その他南アメリカ	South America Unclassified	1,231	1,400	13.7	811	986	21.6	208	198	-4.8	212	216	1.9
オセアニア	Oceania Total	18,164	19,137	5.4	14,079	14,861	5.6	2,681	2,974	10.9	1,404	1,302	-7.3
豪州	Australia	15,211	15,563	2.3	11,994	12,220	1.9	2,213	2,398	8.4	1,004	945	-5.9
ニュージーランド	New Zealand	2,700	3,233	19.7	1,965	2,458	25.1	417	500	19.9	318	275	-13.5
その他オセアニア	Oceania Unclassified	253	341	34.8	120	183	52.5	51	76	49.0	82	82	0.0
無国籍・その他	Stateless	42	61	45.2	37	48	29.7	4	3	-25.0	1	10	900.0

◆注1: 「訪日外客」とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から日本に永住する外国人を除き、これに、日本を経由して第三国へ向かうため日本に一時的に入国した通過客（一時上陸客）を加えた入国外国人旅行者のことである。「観光客」とは、短期滞在の入国者から「商用客」を引いた入国外国人で、親族友人訪問を含んでいる。「その他客」とは、観光、商用目的を除く入国外国人で、留学、研修、外交・公用などが含まれる。

◆注2: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆Note: If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

2010年1月～7月 国・地域別 / 目的別 訪日外客数 (暫定値)

Visitor Arrivals by Country/Area & Purpose of Visit for Jan.-June 2010 (provisional figures)

作成: 日本政府観光局(JNTO) / Compilation: Japan National Tourism Organization

国・地域	Country/Area	総数 Total			観光客 Tourism			商用客 Business			その他客 Others		
		2009年 1月～7月 Jan.-July	2010年 1月～7月 Jan.-July	伸率 % Change	2009年 1月～7月 Jan.-July	2010年 1月～7月 Jan.-July	伸率 % Change	2009年 1月～7月 Jan.-July	2010年 1月～7月 Jan.-July	伸率 % Change	2009年 1月～7月 Jan.-July	2010年 1月～7月 Jan.-July	伸率 % Change
総数	Grand Total	3,727,062	5,080,218	36.3	2,590,157	3,800,654	46.7	657,036	784,892	19.5	479,869	494,672	3.1
アジア	Asia Total	2,601,010	3,869,264	48.8	1,834,237	2,991,414	63.1	393,105	489,017	24.4	373,668	388,833	4.1
韓国	South Korea	850,722	1,405,378	65.2	607,499	1,129,283	85.9	162,173	193,410	19.3	81,050	82,685	2.0
台湾	Taiwan	570,108	775,462	36.0	508,016	702,860	38.4	44,166	52,960	19.9	17,926	19,642	9.6
中国	China	546,081	868,924	59.1	251,845	533,967	112.0	94,703	128,080	35.2	199,533	206,877	3.7
香港	Hong Kong	247,077	322,921	30.7	229,446	302,494	31.8	15,174	17,715	16.7	2,457	2,712	10.4
タイ	Thailand	101,990	126,171	23.7	79,275	99,437	25.4	13,422	16,567	23.4	9,293	10,167	9.4
シンガポール	Singapore	60,579	88,895	46.7	47,629	72,389	52.0	11,468	14,911	30.0	1,482	1,595	7.6
マレーシア	Malaysia	43,813	62,751	43.2	27,993	43,726	56.2	11,052	13,990	26.6	4,768	5,035	5.6
フィリピン	Philippines	43,091	46,697	8.4	22,882	25,775	12.6	7,245	8,168	12.7	12,964	12,754	-1.6
インドネシア	Indonesia	27,982	39,482	41.1	16,824	25,157	49.5	4,948	6,700	35.4	6,210	7,625	22.8
インド	India	33,625	39,774	18.3	11,800	13,229	12.1	11,821	16,441	39.1	10,004	10,104	1.0
ベトナム	Vietnam	18,729	23,849	27.3	5,346	7,927	48.3	3,775	4,857	28.7	9,608	11,065	15.2
イスラエル	Israel	6,861	8,010	16.7	3,989	5,050	26.6	2,570	2,627	2.2	302	333	10.3
その他アジア	Asia Unclassified	50,352	60,950	21.0	21,693	30,120	38.8	10,588	12,591	18.9	18,071	18,239	0.9
ヨーロッパ	Europe Total	450,612	481,461	6.8	284,595	302,626	6.3	122,474	135,325	10.5	43,543	43,510	-0.1
英国	United Kingdom	104,780	107,392	2.5	66,619	66,437	-0.3	27,986	30,662	9.6	10,175	10,293	1.2
フランス	France	81,795	87,221	6.6	55,519	58,141	4.7	18,180	21,179	16.5	8,096	7,901	-2.4
ドイツ	Germany	62,475	67,867	8.6	31,929	33,810	5.9	25,434	28,984	14.0	5,112	5,073	-0.8
イタリア	Italy	30,171	33,472	10.9	19,927	22,203	11.4	8,195	8,912	8.7	2,049	2,357	15.0
ロシア	Russia	26,637	28,990	8.8	16,449	18,379	11.7	5,635	6,577	16.7	4,553	4,034	-11.4
スペイン	Spain	20,877	22,459	7.6	16,690	18,183	8.9	2,718	3,032	11.6	1,469	1,244	-15.3
オランダ	Netherlands	17,650	18,920	7.2	10,404	11,778	13.2	6,117	6,305	3.1	1,129	837	-25.9
スウェーデン	Sweden	15,121	17,145	13.4	8,538	10,116	18.5	5,378	5,553	3.3	1,205	1,476	22.5
スイス	Switzerland	13,308	14,841	11.5	9,230	10,645	15.3	3,394	3,504	3.2	684	692	1.2
フィンランド	Finland	11,293	10,190	-9.8	8,580	7,550	-12.0	2,187	2,097	-4.1	526	543	3.2
ベルギー	Belgium	8,036	8,961	11.5	4,701	5,055	7.5	2,761	3,313	20.0	574	593	3.3
オーストリア	Austria	7,598	8,005	5.4	4,655	4,920	5.7	2,147	2,264	5.4	796	821	3.1
デンマーク	Denmark	7,672	8,676	13.1	4,597	5,458	18.7	2,669	2,808	5.2	406	410	1.0
アイルランド	Ireland	6,083	6,074	-0.1	3,470	3,336	-3.9	1,789	1,962	9.7	824	776	-5.8
ノルウェー	Norway	6,108	6,083	-0.4	4,037	4,071	0.8	1,804	1,620	-10.2	267	392	46.8
ポルトガル	Portugal	4,368	5,656	29.5	3,559	4,815	35.3	584	641	9.8	225	200	-11.1
その他ヨーロッパ	Europe Unclassified	26,640	29,509	10.8	15,691	17,729	13.0	5,496	5,912	7.6	5,453	5,868	7.6
アフリカ	Africa Total	11,304	11,853	4.9	3,781	3,879	2.6	3,416	3,643	6.6	4,107	4,331	5.5
北アメリカ	North America Total	508,789	542,796	6.7	347,912	366,906	5.5	116,324	132,044	13.5	44,553	43,846	-1.6
米国	U.S.A.	409,502	436,111	6.5	269,121	282,371	4.9	104,316	118,159	13.3	36,065	35,581	-1.3
カナダ	Canada	88,237	92,313	4.6	71,125	74,649	5.0	10,300	11,379	10.5	6,812	6,285	-7.7
メキシコ	Mexico	8,030	11,129	38.6	6,376	8,461	32.7	973	1,682	72.9	681	986	44.8
その他北アメリカ	North America Unclassified	3,020	3,243	7.4	1,290	1,425	10.5	735	824	12.1	995	994	-0.1
南アメリカ	South America Total	17,693	21,667	22.5	10,628	13,414	26.2	3,331	4,270	28.2	3,734	3,983	6.7
ブラジル	Brazil	8,946	11,908	33.1	5,246	7,290	39.0	1,848	2,596	40.5	1,852	2,022	9.2
その他南アメリカ	South America Unclassified	8,747	9,759	11.6	5,382	6,124	13.8	1,483	1,674	12.9	1,882	1,961	4.2
オセアニア	Oceania Total	137,292	152,784	11.3	108,709	122,109	12.3	18,362	20,565	12.0	10,221	10,110	-1.1
豪州	Australia	118,029	132,746	12.5	95,607	108,534	13.5	15,117	16,926	12.0	7,305	7,286	-0.3
ニュージーランド	New Zealand	17,378	18,307	5.3	12,209	12,839	5.2	2,952	3,285	11.3	2,217	2,183	-1.5
その他オセアニア	Oceania Unclassified	1,885	1,731	-8.2	893	736	-17.6	293	354	20.8	699	641	-8.3
無国籍・その他	Stateless	362	393	8.6	295	306	3.7	24	28	16.7	43	59	37.2

◆注1: 「訪日外客」とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から日本に永住する外国人を除き、これに、日本を経由して第三国へ向かうため日本に一時的に入国した通過客(一時上陸客)を加えた入国外国人旅行者のことである。「観光客」とは、短期滞在の入国者から「商用客」を引いた入国外国人で、親族友人訪問を含んでいる。「その他客」とは、観光、商用目的を除く入国外国人で、留学、研修、外交・公用などが含まれる。

◆注2: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆Note: If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

2010年 年齢層 / 性別 出国日本人数

Japanese Overseas Travelers by Age and Gender for 2010

	1月	伸率	2月	伸率	3月	伸率	4月	伸率	5月	伸率	6月	伸率	7月	伸率	8月	伸率	9月	伸率	10月	伸率	11月	伸率	12月	伸率	累計	伸率	構成比
	Jan.	Chg %	Feb.	Chg %	Mar.	Chg %	Apr.	Chg %	May	Chg %	June	Chg %	July	Chg %	Aug.	Chg %	Sept.	Chg %	Oct.	Chg %	Nov.	Chg %	Dec.	Chg %	Cumulative	Chg %	Share %
総数 (Total)	1,264,299	7.8	1,289,825	-5.1	1,563,113	10.2	1,212,959	0.9	1,262,453	21.8	1,312,608	38.5	1,405,335	10.1											9,310,592	10.7	100.00
男性 (Male)	701,815	11.7	678,099	-4.4	822,533	11.9	686,726	7.2	707,363	29.3	750,992	37.0	762,964	11.5											5,110,492	13.7	54.89
0~4	9,760	-8.2	7,870	8.7	8,811	4.5	9,697	-5.8	8,811	8.6	8,684	24.5	13,788	-2.5											67,421	2.4	0.72
5~9	11,305	-9.6	6,614	7.4	14,088	1.4	10,285	-8.8	6,140	-15.5	5,427	19.7	23,618	-0.4											77,477	-2.4	0.83
10~14	9,902	-5.5	4,740	7.8	20,330	9.1	8,537	-11.7	4,030	-21.8	3,126	28.7	23,209	14.2											73,874	3.9	0.79
15~19	10,331	-18.4	11,586	0.3	32,441	8.7	6,281	-6.7	6,156	83.1	7,347	139.0	17,643	57.6											91,785	17.0	0.99
20~24	22,315	-0.9	58,892	-9.5	67,459	-4.3	11,810	-8.5	14,243	26.9	15,581	38.6	16,989	14.3											207,289	-0.5	2.23
25~29	42,718	3.2	50,057	-8.4	54,747	1.5	41,649	-2.4	46,776	21.6	49,016	37.9	47,229	13.0											332,192	7.7	3.57
30~34	62,879	6.6	58,977	-6.6	62,420	9.5	62,755	3.3	65,976	27.8	71,510	38.4	66,637	14.0											451,154	12.4	4.85
35~39	79,841	10.5	70,281	-6.0	79,350	12.5	78,843	9.0	81,276	35.2	89,228	40.7	85,622	14.1											564,441	15.6	6.06
40~44	83,318	14.0	71,979	-3.5	86,279	14.8	81,554	12.0	82,500	37.7	89,098	36.5	92,089	14.4											586,817	17.1	6.30
45~49	81,900	18.5	71,090	0.9	89,112	19.5	81,234	18.1	82,450	44.7	87,571	39.7	90,735	17.8											584,092	21.8	6.27
50~54	71,413	15.6	63,691	-2.8	76,481	16.2	69,668	14.6	72,374	38.1	76,597	36.1	76,614	14.3											506,838	18.0	5.44
55~59	65,148	9.2	59,361	-9.8	67,618	9.0	64,679	5.0	66,127	21.7	69,988	29.0	68,054	4.4											460,975	9.0	4.95
60~64	73,669	21.3	69,312	-1.1	77,118	20.6	76,403	9.8	78,053	24.9	82,624	37.3	71,611	8.8											528,790	16.8	5.68
65~69	41,515	18.5	39,981	-6.7	44,446	17.2	44,175	1.9	47,238	16.6	49,534	28.8	37,310	-2.4											304,199	10.1	3.27
70~	35,801	30.6	33,668	1.6	41,833	27.4	39,156	5.2	45,213	29.1	45,661	42.3	31,816	2.0											273,148	19.3	2.93
不詳 (Unknown)	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-											0	-	0.00
女性 (Female)	562,484	3.4	611,726	-5.9	740,580	8.3	526,233	-6.2	555,090	13.4	561,616	40.5	642,371	8.5											4,200,100	7.1	45.11
0~4	9,211	-11.6	7,611	8.8	8,413	3.5	9,413	-5.8	8,550	4.9	8,266	21.9	13,137	-5.0											64,601	0.5	0.69
5~9	11,121	-7.4	6,413	3.2	13,848	3.3	9,928	-9.0	6,043	-13.3	5,440	17.9	23,473	0.4											76,266	-1.6	0.82
10~14	9,702	-7.6	4,588	5.7	20,776	10.0	8,806	-10.9	4,443	-21.6	3,443	39.8	25,846	16.7											77,604	5.0	0.83
15~19	14,068	-10.6	17,863	3.0	50,897	10.2	9,108	-11.0	7,956	49.2	9,278	120.4	32,342	69.4											141,512	19.8	1.52
20~24	53,220	1.9	135,710	-4.5	127,557	5.1	25,783	-11.7	28,657	13.9	30,694	36.7	38,165	6.6											439,786	2.7	4.72
25~29	70,814	0.2	77,461	-9.4	73,249	1.7	62,596	-7.9	69,817	11.3	72,368	36.3	78,607	6.0											504,912	3.9	5.42
30~34	65,235	-2.7	61,223	-10.7	59,187	2.3	60,246	-8.2	61,191	7.0	64,250	32.1	67,977	2.4											439,309	1.9	4.72
35~39	57,580	-0.8	48,220	-9.1	54,066	5.2	51,008	-7.4	50,044	6.8	50,869	35.0	64,958	6.8											376,745	3.8	4.05
40~44	43,409	1.5	35,092	-6.6	49,458	8.6	39,010	-5.3	37,056	10.1	36,536	35.9	55,409	12.2											295,970	6.8	3.18
45~49	36,707	5.4	32,579	-6.4	49,763	9.8	34,822	-3.2	34,511	15.5	35,071	41.0	46,933	16.1											270,386	9.9	2.90
50~54	37,514	3.1	36,656	-11.8	48,644	6.2	37,090	-6.7	39,830	11.3	40,244	41.5	42,834	8.2											282,812	5.8	3.04
55~59	42,961	3.4	41,944	-12.1	49,426	5.3	46,613	-9.2	51,097	9.9	50,721	37.4	44,679	1.3											327,441	4.0	3.52
60~64	52,286	21.2	50,024	1.9	59,174	22.9	60,544	0.8	69,084	23.1	69,764	52.8	50,863	8.2											411,739	17.9	4.42
65~69	31,850	18.0	30,257	-2.6	38,910	17.7	37,895	-6.3	45,939	20.6	45,675	44.2	30,149	-0.8											260,675	12.5	2.80
70~	26,806	22.5	26,085	7.7	37,212	24.0	33,371	0.6	40,872	30.3	38,997	53.2	26,999	6.7											230,342	20.3	2.47
不詳 (Unknown)	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-											0	-	0.00

◆注：本資料を引用される際は、作成名・出典名の両方を明示してください。

◆Note: If reproduced, your credit line to the compiler and source is mandatory.

作成：日本政府観光局(JNTO) / 出典：法務省

Compilation: Japan National Tourism Organization; Source: Ministry of Justice

